

## (1) 国公立大学 受験日程

\*表内記載の参考図書は、教室 or 進路指導室に常備、または3年生に配布

月	日	下関西高のうごき	大学のうごき	生徒のうごき
4 ・ 5 ・ 6		進路希望調査① 個人面談① PTA総会	共通テスト要項発表  総合型選抜準備	個人面談で学習への取組状況や志望校の確認をする。  大学案内などの資料を取り寄せる。  総合型選抜は面接～合格まで6～11月と長期にわたる大学・学部がある。詳細は、「全国大学推薦入試合格対策号」(旺文社・7月発売)参照。
7	末まで		次年度の入試科目・配点・募集人員発表	詳細は、「栄冠めざしてVOL. 2」(河合塾・9月配布) 「全国大学受験年鑑」(旺文社・11月発売)を参照。
	下旬	三者懇談①		志望校・学習状況等を確認する。
8			総合型選抜出願開始	総合型選抜出願準備 オープンキャンパス参加
9	初旬	共通テスト「受験案内」配布・出願準備  進路希望調査②		<b>共通テストの「受験案内」(願書)は学校で一括入手・配布し、生徒は9月下旬に担任へ提出。検定料は各自で振込。</b> 検定料18,000円(3科目以上) 12,000円(2科目以下) ※成績開示手数料800円別 推薦型選抜受験希望者は「推薦願」を提出する。
10	上旬	共通テスト出願  推薦会議		<b>共通テストは学校から一括して出願。</b>
	上旬	個人面談②		現在の学習状況、適切な志望校を検討する。
	下旬	出願予定大学調査	各大学募集要項公開 (10～12月)	出願予定大学を、第1～3希望まで検討して学校に提出。 <b>各大学の募集要項(入学願書)は各自で取り寄せる。</b> 「ゆうパック」や「テレメール」を利用すると、一度に複数大学の要項が入手できる。 <b>※受験可能性がある複数大学について、共通テスト前までに取り寄せる。</b>
11		共通テストを課さない 推薦入試 (11月～12月上旬)		
12	上旬	三者懇談②		推薦入試の募集要項は各自で取り寄せる。詳細は、「全国大学推薦入試年鑑」(旺文社・8月発売)参照。
	下旬			三者懇談②は共通テスト結果を想定した出願校選定。

1	中旬	<b>共通テスト</b>		各大学二次試験に先立ち、全国一斉に行われる。
	共通テ 翌日	学校で自己採点	共通テストを課す 推薦入試（1～2月）	<b>共通テストの得点は受験者に知らされない</b> ので、自己採点で合格可能性を判定する。 （成績開示を希望した生徒は、4月中旬以降結果が届く）
	下旬	<b>三者懇談③</b>		自己採点結果をもとに受験大学を決定する。
			共通テストを課さない推 薦入試の結果発表	<b>二次試験（前期・後期・中期日程）を各自で同時に出願。</b> （検定料は各¥17,000程度） 出願期間は共通テスト後～2月上旬。 （締切日は年度によって異なる）
2	25	<b>前期日程試験</b>	共通テストを課す 推薦入試の結果発表	受験旅行のために「受験願」を提出。 学割が必要な生徒はその受験願で同時申込。 試験会場は各大学の所在地
3	6～10		「前期日程」大学 合格発表	<b>合否が分かり次第、すぐに担任へ連絡する。</b>
	8～	<b>中期日程試験</b>	「中期日程」大学 二次試験	「中期」を実施するのは公立大の一部。
	12～	<b>後期日程試験</b>	「後期日程」大学 二次試験	
	15		「前期日程」大学 入学手続締切	<b>「前期」の入学手続を完了した生徒は「後期・中期」大学を受験しても合格にならない。</b>
	20～24		「後期・中期日程」大学合 格発表	「後期・中期」大学の入学手続締切は3月27日頃。
	28～		欠員補充のための 追加合格発表	自宅に電話(直接応答必須)で合格連絡がある。 (詳細は入試要項等で確認)

## (2) 私立大学 受験日程

月	日	下関西高のうごき	大学のうごき	生徒のうごき
4 ・ 5 ・ 6		進路希望調査① 個人面談① <b>PTA総会</b>	共通テスト要項発表  総合型選抜準備	個人面談で学習への取組状況や志望校の確認をする。  大学案内などの資料を取り寄せる。  総合型選抜の方法は大学・学部により異なり、面接～合格まで6～11月と長期にわたる大学・学部がある。
7	末まで		次年度の入試科目・配点・ 募集人員発表	詳細は、 「栄冠めざしてVOL. 2」(河合塾・9月配布) 「全国大学受験年鑑」(旺文社・11月発売) を参照。
	下旬	<b>三者懇談①</b>		志望校・学習状況等を確認する。
	中旬 ～ 下旬	指定校推薦大学の推薦条件・募集人員を教室掲示		指定校推薦を希望する生徒は、教室掲示された募集の紙を見て、志望大学を検討する。
9	中旬	進路希望調査②  推薦会議 (指定校推薦) 定員以上に希望者がある場合、選考会議を行う	指定校推薦入試 (10月～11月)	志望大学の推薦条件を要項等で確認し、担任・保護者と十分相談したうえ、9月初めに「推薦願」を提出。 <b>※9月中旬に指定校推薦の選考会議を行う。</b>
10	上旬 ～ 中旬	推薦会議(一般推薦型) 個人面談②		現在の学習状況、適切な志望校を検討する。
			各大学募集要項公開 (10月～12月)	各大学の募集要項(入学願書)は各自で取り寄せる。 「ゆうパック」や「テレメール」を利用すると、一度に複数大学の要項が入手できる。  有名私立大の願書は、書店でも販売される。
11	～12月		一般推薦入試 (ピークは11月中旬)	推薦入試要項は、 「全国大学推薦入試年鑑」(旺文社・8月発売)参照。 ※専願(合格したら必ず入学)か併願(他大学受験可)のどちらかを必ず確認する。
12	下旬	<b>三者懇談②</b>		私立出願も検討し、共通テスト利用も含めて無理のない受験日程を立てる。
1	上旬		私立大出願開始	出願は各自で行う。検定料は1校につき¥30,000前後
	中旬 ～ 下旬	<b>三者懇談③</b>	共通テスト	
2	上旬 ～ 中旬		<b>私立大前期入試 (本試験)</b>	受験旅行のため「受験願」を提出。 学割が必要な生徒はその受験願で同時申込。 地方受験(北九州・福岡・広島など)を実施する大学も多い。
3			<b>私立大後期入試 (2次募集)</b>	募集定員が少なく、合格者数や難易度が年によって大きく変動するので注意。